



にし阿波共創プロジェクト

～高校生と地域が描く「住み続けられる」未来～

令和7年度 挑み続ける『人財』育成事業



1 現状



徳島県立つるぎ高等学校

本校では令和2年度からJR貞光駅でトロッコ列車のおもてなし活動を実施しています。活動はICTビジネス研究部から本校の各学科へ広がり、様々な学びを地域で発信する場となっています。地域の魅力を伝えるだけでなく、地域で活躍する存在となることを目指し、「住み続けたい・住み続けられるにし阿波」づくりに挑戦しています。

2 企画

地域の魅力
を知り発信



交流人口や関係
人口の増加



住み続けられる
未来の共創

① 地域の農業を守りたい

世界農業遺産に認定された「にし阿波の傾斜地農耕システム」や特産品をPRします

② 観光客が「にし阿波」に滞在する時間を増やしたい

「藍よしのがわトロッコ」おもてなし活動を通じ、にし阿波の魅力をPRします

③ 地元高校生も行きたくなる観光スポットを発信したい

「つるぎRPG」PR大使の活動やSNSを活用し、観光スポットを発信します

3 実践



世界農業遺産・傾斜地農耕システムの学習とPR

トロッコ列車おもてなしで美馬和傘を活用した「藍ドル」活動



イベント（マチ★アソビ）でツルギスタをPR

PR動画の制作とSNSによる情報発信

4 成果

今回の活動により、地域資源を活用した「にし阿波」地域の活性化に貢献することができました。また、本校の目標である「人づくり ものづくり まちづくり」も実践することができました。私たちは今後も地域と連携した実践的な活動を行い、「にし阿波」の交流人口や関係人口を増やし、「住み続けたいにし阿波」「住み続けられるにし阿波」づくりができるよう努力していきたいと思います。